

二六〇六番

人目多^{ひとめおほ}み 常^{つね}かくのみし さもらはば いづれの
時^{とき}か 我^あが恋^こひざらむ

二六〇七番

しきたへの 衣手^{ころもてか}離れて 我^あを待^まつと あるらむ
児^こらは 面影^{おもかげ}に見^みゆ

二六〇八番

妹^{いも}が袖^{そで} 別^{わか}れし日^ひより 白^{しろ}たへの 衣片^{ころもかたし}敷^きき 恋^こ
ひつつそ寝^ぬる

二六〇九番

白^{しろ}たへの 袖^{そで}はまゆひぬ 我^わ妹子^{きもこ}が 家^{いへ}のあたり
を 止^やま^ふず振^ふりしに